

# 吐水口(龍) 取扱施工説明書

このたびは、吐水口(龍)をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。


施工前・使用前に必ずお読みください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。


## 安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。



お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 気をつけていただきたい「注意」を表します。



 必ず実行していただく「強制」を表します。

 してはいけない「禁止」を表します。

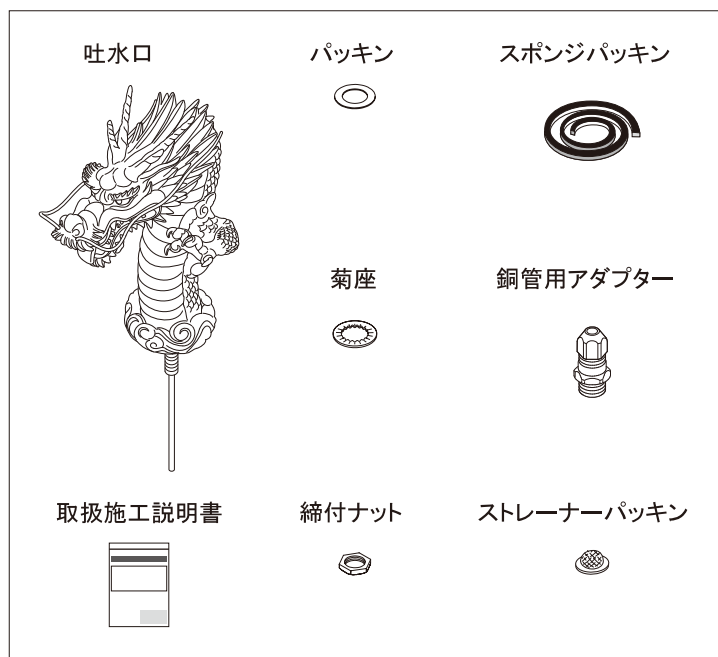
## 施工上のご注意

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本品は平らな面に設置してください。 ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</li> <li>●施工前に輸送中の破損がないか確認してください。</li> <li>●取付後の確認を必ず行ってください。</li> <li>●施工前に配管内の、ゴミや砂などは完全に洗い流してください。</li> <li>●各部の接続を行う際はパッキンがついていることやそれらに破損・変形がないか必ず確認をしてください。 漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</li> <li>●本品と組合わせて設置する開閉バルブは、水勢調節及び器具の点検を容易にするために、必ず止水栓を取付けた配管に設置してください。</li> <li>●給水配管および止水栓をキャビネットや流し台の裏側(壁の中)に配管(隠蔽配管)する場合は、必ず点検口を設置し、作業可能なスペースを確保してください。 経年変化や劣化による漏水を発見できず、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</li> <li>●給水温度は40℃以下で使用してください。 製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●温泉水、中水、井戸水には使用しないでください。</li> <li>●本品は屋内用です。屋外には設置しないでください。</li> <li>●凍結が予想される場所には設置しないでください。 凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</li> <li>●製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。 ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</li> </ul>

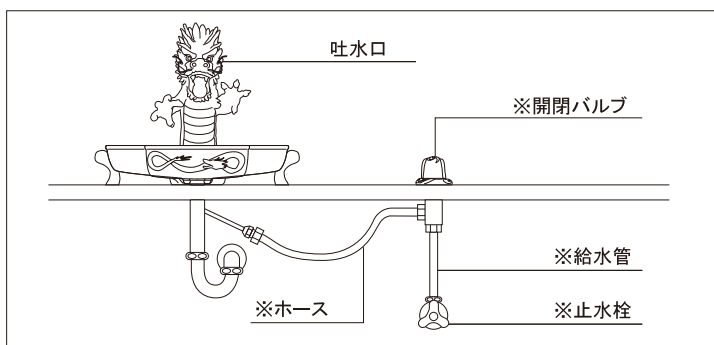
## 使用上のご注意

	<ul style="list-style-type: none"> <li>●給水温度は40℃以下で使用してください。 製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●温泉水、中水、井戸水には使用しないでください。</li> <li>●本品は屋内用です。屋外では使用しないでください。</li> <li>●凍結が予想される場所では使用しないでください。 凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</li> <li>●製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。 ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</li> <li>●スポンジや金属たわし・クレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、表面を傷めますので使用しないでください。</li> </ul>


## ●製品同梱明細



## ●取付方法

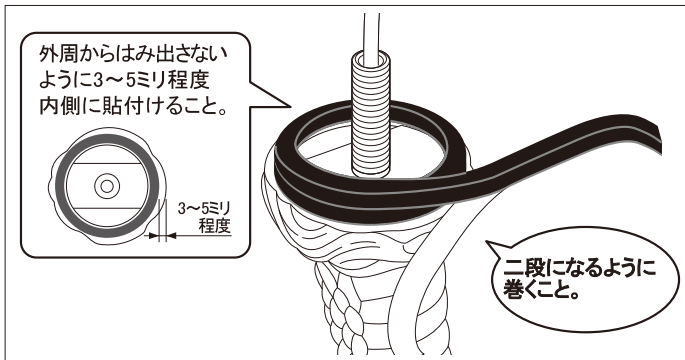


\* 本品は吐水口です。別途、開閉バルブ(図中※印)と組合わせてご使用ください。  
\* 本品と開閉バルブはホースなどで接続してください。  
\* ホースなどの取付ネジはG1/2です。

 本品と組合わせて設置する開閉バルブは、水勢調節及び器具の点検を容易にするために、必ず止水栓を取り付けた配管に設置してください。

# 取付方法

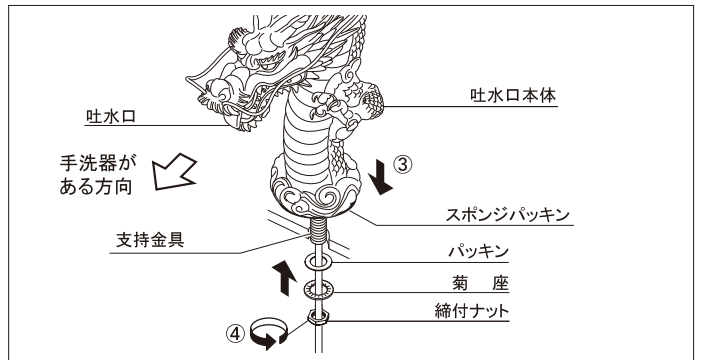
## 1. スポンジパッキンを貼付けます。



吐水口底面の外側寄りに、イラストのようにスポンジパッキンを二段に貼付けます。  
 \* スポンジパッキンは伸びやすい素材です。  
 はくり紙を少しずつはがし延びないように注意しながら貼付けてください。  
 \* スポンジパッキンは台座からはみ出さないように少し内側に貼付けてください。

**!** スポンジパッキンは二段になるように巻いてください。一段では漏水する恐れがあります。

## 2. 吐水口を設置します。



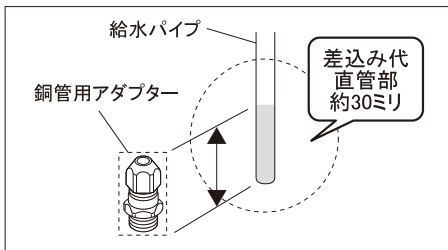
① 吐水口本体を設置する場所の取付穴径を確認し、穴周囲の汚れを取ります。  
 ② 支持金具よりパッキン、菊座、締付ナットを取外します。  
 ③ 吐水口本体を取付台に差込み、吐水口(龍の口)を手洗器がある方向に向けます。  
 ④ 支持金具にパッキン、菊座の順に取付けて、締付ナットを「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。

**!** スポンジパッキンが取付台に接していない箇所があると、取付台下に水が浸入し、グラつきや漏水の原因になりますのでご注意ください。  
**!** 吐水口本体が正しく固定されないと、グラつきや取付台下へ漏水を起こす原因になりますのでご注意ください。

**!** 吐水口本体が取付穴の中心にくるように固定してください。

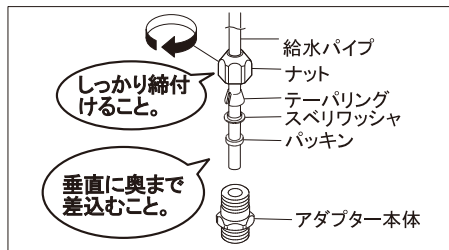
## 3. 開閉バルブと接続します。

\* 開閉バルブを取付ける際は、開閉バルブに付属の説明書などを参照してください。



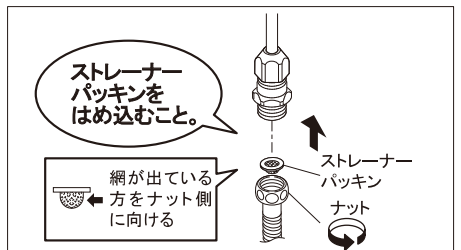
① 給水パイプの必要長さを確認し、切断します。

**!** 給水パイプの差込み代として、末端から、直管部約30ミリ確保してください。切断面はきれいに仕上げてください。



② 給水パイプにナット、テーパリング、スペリワッシャ、パッキンの順に通してから、アダプター本体を給水パイプに垂直に奥まで差込み、ナットを手で締付けます。  
 ③ ナットを「レンチ」などでしっかりと締付けます。

**!** 袋ナット、テーパリング、スペリワッシャ、パッキンの順序を間違えないように接続してください。誤った順序で接続すると漏水する恐れがあります。



④ 網が出ている方をナット側に向けてストレーナーパッキンをホースのナットにはめ込んでから、銅管用アダプターに「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。

**!** 締付けが十分でないで漏水する恐れがありますのでご注意ください。  
**!** ストレーナーパッキンが付いていないと漏水する恐れがあります。入忘れにご注意ください。

**!** 給水パイプは根元から急激に曲げないでください。パイプにキズが付き、強度が失われたり、パイプがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。また、漏水を起こし家財などを濡らす恐れがあります。

**!** 給水パイプの曲げ半径は、60ミリ以上確保してください。急激に曲げますと、パイプがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。

## 取付後の確認

- 吐水口の取付状態の確認  
ガタツキがないか確認をします。
- 吐水量の確認、及び調整  
開閉バルブを開いて吐水させ、適正な吐水量であるか確認をします。  
\* 水ハネが激しい場合は、止水栓を絞ってください。
- 漏水、排水の確認  
通水・排水経路の接続各部に漏水がないか確認をします。  
\* 詳細は、各器具の説明書を参考にしてください。

**!** メンテナンスなどで、止水栓を閉め、再び開く場合などには、水栓の吐水量の確認、及び調整を必ず行ってください。(施工後の確認 ②)

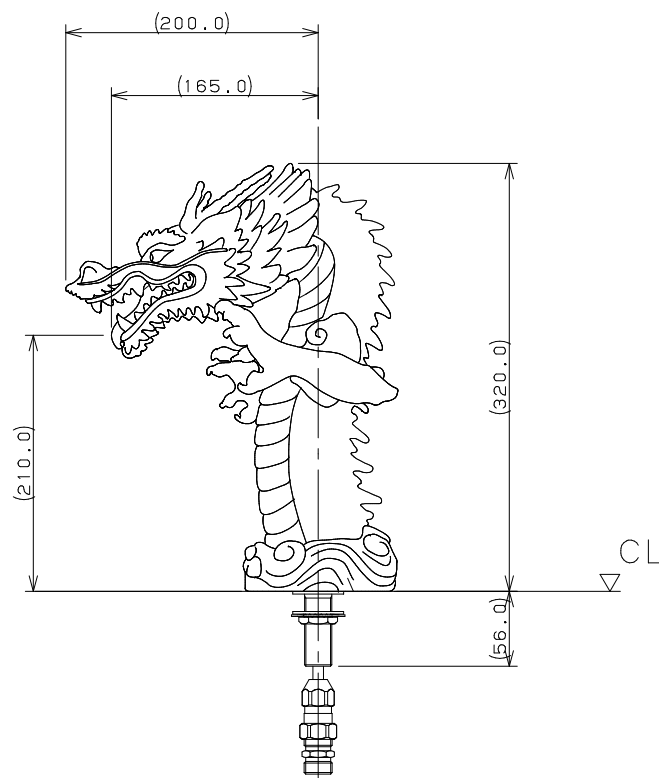
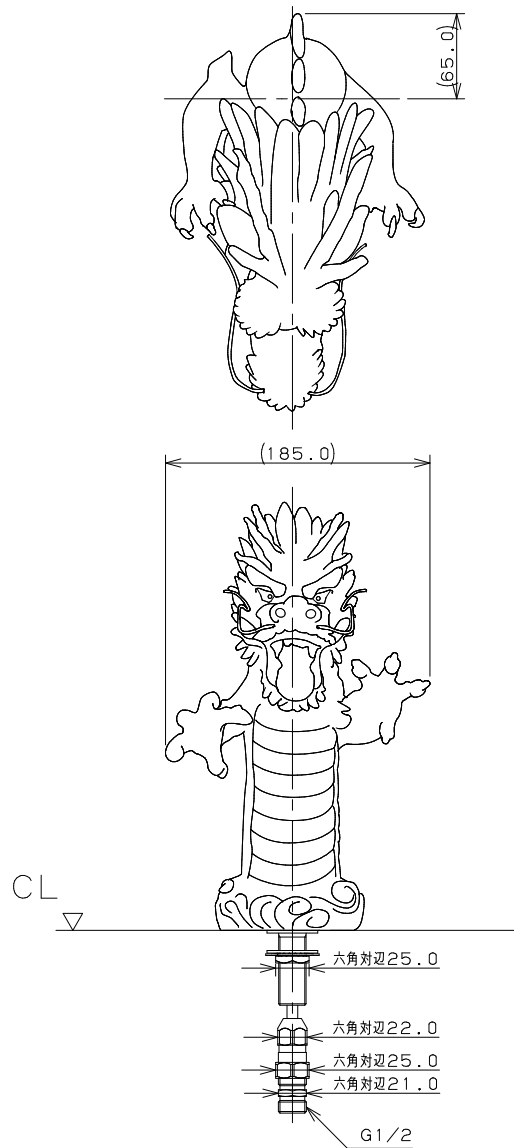
## お手入れのしかた

### ● 器具のお手入れ



いつまでも美しくご使用いただくために。ふだんは乾いたやわらかい布で拭いてください。汚れがひどい時は、固く絞った布を使って拭いた後、乾いた布で水気を拭取ってください。

**!** スポンジや金属たわし・クレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたり塗装面を傷めますので使用しないでください。



※1 ( ) 内寸法は参考寸法である。

※2 784-407カウンター化粧バルブと合わせて使用すること。

	単位 mm	尺度 1/4	製 図	検 図	承 認	品番 龍の口
			岩 藤	寒 川	祝	
			2022年03月10日 作成			品名



# カウンター化粧バルブ

## 取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、カウンター化粧バルブをお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

### 安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損など)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

**注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または、物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**禁止** してはいけない「禁止」を示します。

**必ず実行** 必ず実行していただく「強制」を示します。

**注意** 気をつけていただきたい「注意」を示します。

### 施工上のご注意

**禁止**

- 凍結が予想される場所には設置しないでください。凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**必ず実行**

- 配管内のゴミや砂などは完全に洗い流してください。
- 各部の接続を行う際は、パッキンがついていることやそれらに破損・変形がないか必ずご確認ください。漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 水勢調節および器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ず設置してください。
- 給水配管および止水栓をキャビネットや流し台の裏側(壁の中)に配管(隠蔽配管)する場合は、必ず点検口を設置し、作業可能なスペースを確保してください。経年変化や劣化による漏水を発見できず、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

### 使用上のご注意

**禁止**

- 凍結が予想される場所では使用しないでください。凍結破損により漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 製品にもたれるなどして無理な力を加えたり、大きな衝撃を与えたりしないでください。ケガをしたり、製品の変形や破損により漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**必ず実行**

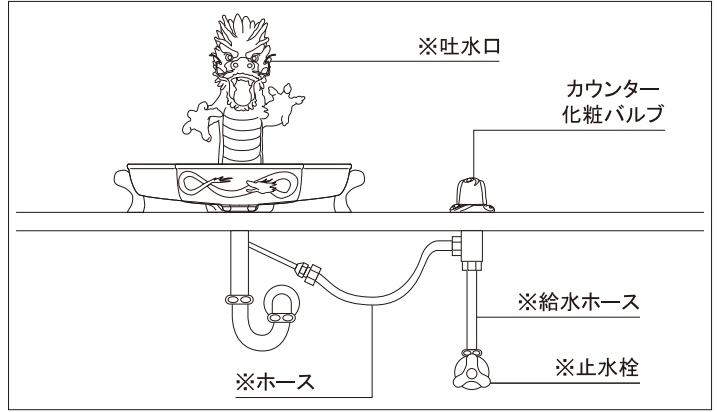
- ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、配管からの漏水を起こし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。放置すると故障の原因になりますので修理をご依頼ください。

**注意**

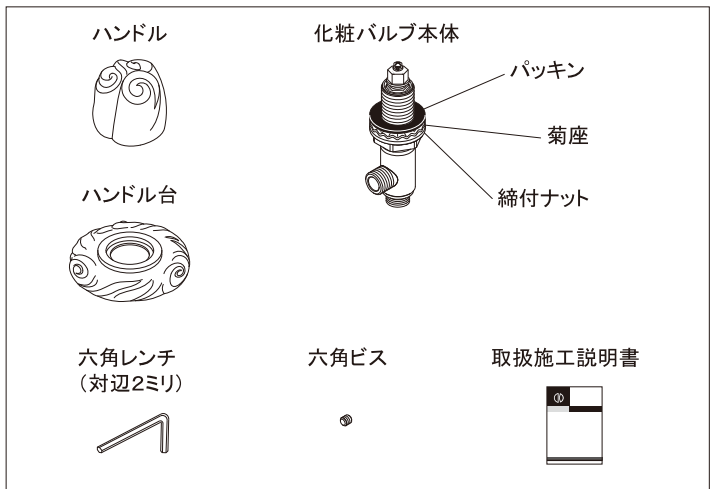
本品は、外観の色合いを楽しんでいただく製品であり、表面に塗装、または特殊処理を施しています。通常の表面仕上げ(ニッケルクロームめっき)とは異なり、表面はやわらかいため、使用環境および使用方法により外観の色合いの変化や変色などが発生することがあります。ご使用・お手入れの際はご注意ください。

## 施工例

\*別途吐水口・ホース・給水ホース・止水栓(図中※印)と組合わせてご使用ください。  
\*ホースとの取付ネジはG1/2です。



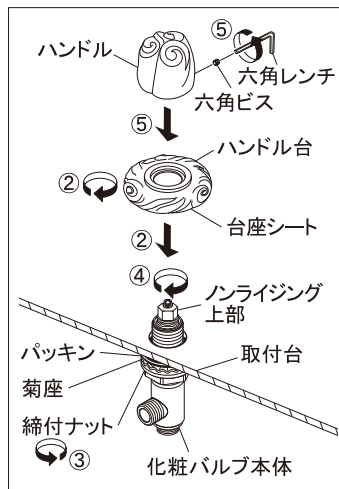
## 製品同梱明細



## 取付方法

\*数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。

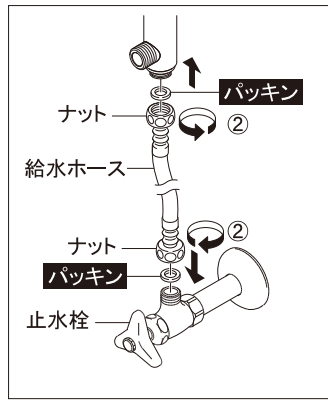
### 1. 化粧バルブ本体を取付けます。



- ①取付台下部より化粧バルブ本体を差込みます。
- ②ハンドル台下部の台座シートを確認し、ハンドル台を化粧バルブ本体に当りがあるまでねじ込みます。
- ③取付台下部より締付ナットを「レンチ」などでしっかりと締付けて、化粧バルブ本体を確実に固定します。
- ④ノンライジング上部を右にまわし止水位置にします。
- ⑤ビスが後ろを向くようにハンドルをはめ込み、付属の六角レンチで六角ビスを固定します。

# 取付方法(つづき)

## 2. 止水栓と接続します。



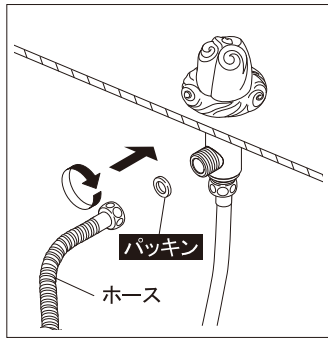
- ①パッキンを給水ホースのナットにはめ込みます。
  - ②給水ホースのナットにパッキンが入っていることをご確認のうえ、化粧バルブ本体・止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。
- \*パッキンの入れ忘れにご注意ください。

**必ず実行**

フレキパイプをご使用の場合、接続する配管は確実に固定してください。配管の固定が確実でないと、ウォーターハンマーなどの振動によりフレキパイプが破損する恐れがあります。

## 3. 吐水口と接続します。

\* 詳細は吐水口の説明書をご参照ください。



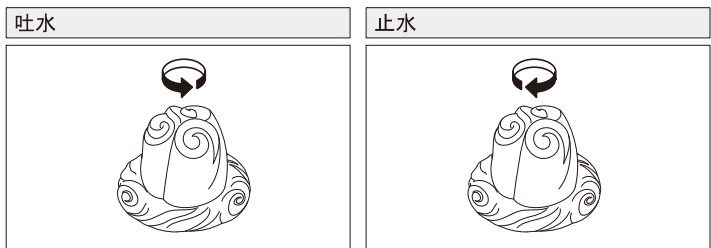
- ホースにパッキンをはめ込み、化粧バルブ本体と吐水口に、「レンチ」などでしっかりと締付けます。
- \*パッキンの入れ忘れにご注意ください。

# 施工後の確認

止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないかご確認ください。  
漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所を施工をやり直してください。

# 使用方法

## ハンドルの操作方法



ハンドルを左にまわすと「吐水」、右にまわすと「止水」します。

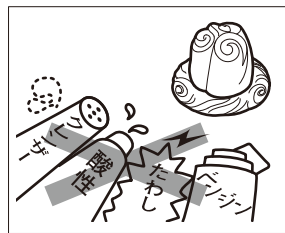
**必ず実行**

ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、配管からの漏水を起し、家財などを濡らす財産損害発生の恐れがあります。

# お手入れのしかた

## 器具のお手入れ

いつまでも美しくご使用いただくために。

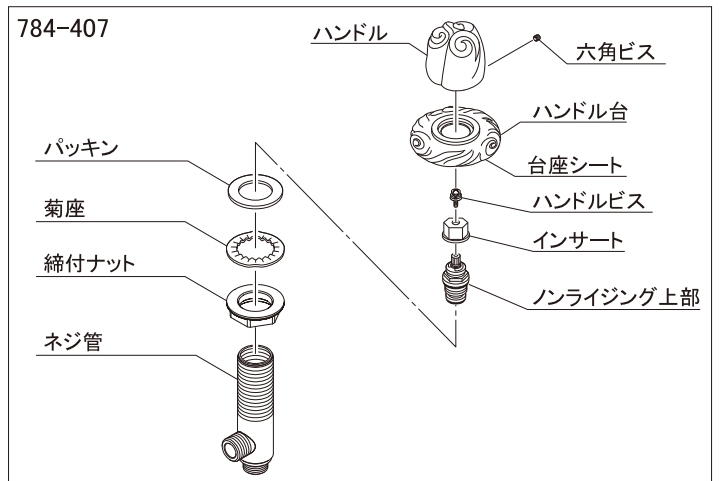


本品は、外観の色合いを楽しんでいただく製品であり、表面に塗装、または特殊処理を施しています。  
ふだんは、乾いたやわらかい布を使って水気を拭き取り、お手入れしてください。  
汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で軽く拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。

**注意**

- 金属たわしなどのかたいもので擦ったり、クレンザー、みがき粉、カーワックス、コンパウンドなどを使用しないでください。キズや塗装がはがれたり変色したりする原因となります。
- 酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、溶剤、薬品などを使用しないでください。塗装がはがれたり変色したりする原因となります。
- 湯をかけた時、スチームクリーナーを使用しないでください。塗装がはがれたり変色したりする原因となります。

# 分解図



\* 品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。  
\* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

# こんな時には… 簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に **分解図** を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた
吐水不良	吐水量が少ない	●止水栓が閉まっている
	全く吐水しない	●水がきていない
止水不良	止水できない	●ノンライジング上部の異常
	ハンドルと本体の間より漏水	●ノンライジング上部のゆるみ
		●ノンライジング上部の異常
ハンドルがかたい	●ノンライジング上部の異常	

以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。

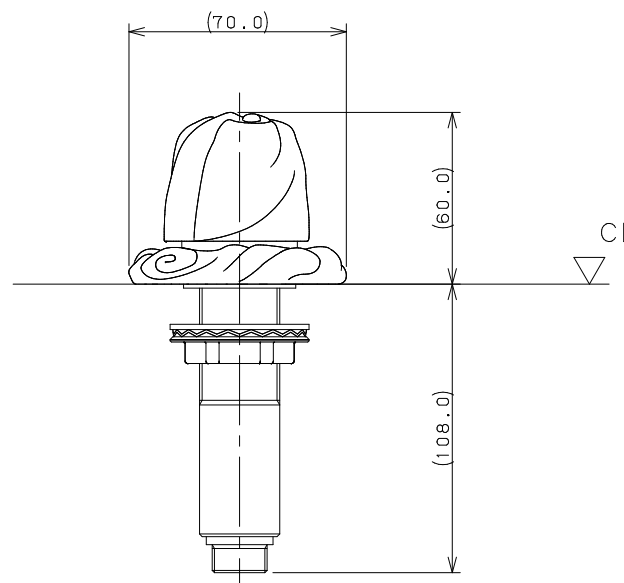
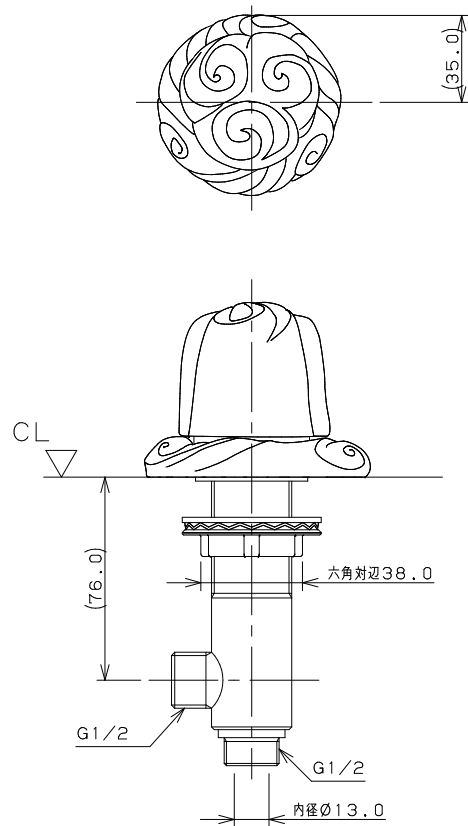


本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

0420GF

M-B9841B

無断転載・複写を禁ず



※1 ( ) 内寸法は参考寸法である。  
 ※2 止水栓を必ず設置すること。

 <b>KAKUDAI</b>	 単位 mm	尺度 $\frac{1}{2}$	製 図	検 図	承 認	品 番
				和 田	寒 川	祝
			2020年03月12日 作成			品 名